

いわき管内の復旧・復興の取り組みを伝える

復旧・復興だより



2017.3 Vol.15
福島県いわき建設事務所

守る まも
る



県内初の津波高潮対策水門
弁天川水門完成

福島県では、東日本大震災で発生した津波が河川を遡上（そじょう）し多くの被害をもたらしたことから、津波高潮対策として水門を整備しております。いわき建設事務所では、平成26年度より市内4か所（滑津川、弁天川、神白川、中田川）の津波高潮水門の工事に着手し、この度、県内で初めてとなる『弁天川水門』が完成しました。



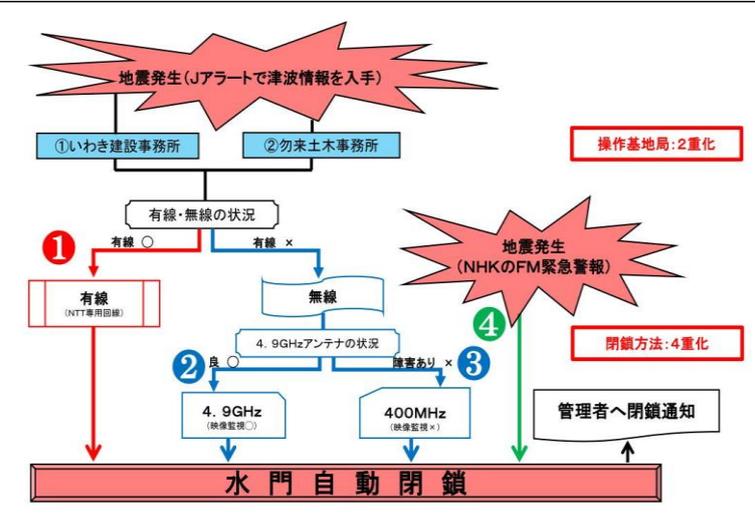
概要（弁天川水門）

- ・水門本体 幅 15.0m、高さ 15.7m、延長 44.0m
- ・機械設備 形式 鋼製ローラーゲート
純経間×有効高 11.0m×3.0m
開閉速度 0.3m/分（自重降下時約1分で全閉）
- ・施工年度 平成26年4月～平成29年2月
- ・施工者 土木・建築：常磐開発(株) 機械：矢田工業(株)
電気：三浦電気工事(株)
通信：富士通(株)、日本無線(株)

水門の閉鎖を自動化

東日本大震災において、水門や陸閘（りっこう）を閉鎖に行った消防団員が全国で59名犠牲となったことを受け、福島県では現場で操作しなくてもよい『自動・遠隔化』による水門操作を実現しました。

【水門閉鎖までの流れ】



完成した水門を地域住民に公開

地域の方々に水門施設を理解して頂くため、平成29年3月22日に弁天川水門の現場見学会を開催しました。当日は約40人の住民が訪れ、テント内で職員による概要説明を聞いた後、ゲートの開閉動作や操作室を見学して頂きました。



沼ノ内地区 遠藤欽也区長

「県内で一番最初に完成したこと、ご尽力頂いた関係者の方々に感謝したい。沼ノ内地区は、東日本大震災で発生した津波が弁天川を遡上して多くの家が被害を受けました。この度、弁天川に水門が作られたことによって、地域の防災に対する意識を高め、“安心・安全なまち”の象徴として今後のまちづくりを進めていきたい。」

いわき管内の復旧・復興進捗状況



※ 津波による被災を受けたいわき市内の事業 (平成29年3月現在)

福島県いわき建設事務所

〒970-8026

福島県いわき市平字梅本 15 番地

TEL 0246-24-6143 (企画調査課)

